

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院皮膚科に、IgG4 関連皮膚疾患または円形脱毛症で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学皮膚科学教室では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

IgG4 関連皮膚疾患としての脱毛症と従来の円形脱毛症の発症機序の差異についての後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学皮膚科学教室 講師 池田高治

3. 研究の目的

IgGとは、免疫の担い手である免疫グロブリンというたんぱく質の一種です。IgG4はその一部ではありますが、現在でもその働きは十分解明されていません。

IgG4 関連疾患は、様々な臓器に IgG4 を持った免疫担当細胞が浸潤し、障害臓器に応じた様々な症状を起こす疾患で、現在も発症について不明な部分が多い疾患です。

他の病気と判断されていた患者さんが最近の研究結果で IgG4 関連疾患と診断されて、適切な加療を受けることができるようになりました。一方、IgG4 関連疾患と異なる多くの疾患でも、IgG4 をもつ免疫担当細胞がみられることが知られており、IgG4 に関する研究の進歩が求められています。

IgG4 関連疾患が皮膚に出現した IgG4 関連皮膚疾患の報告が最近増加しつつあり、脱毛症が生じることがあるようです。円形脱毛症は、局所的な自己免疫異常により生じる病気です。IgG4 関連疾患と円形脱毛症の関連はこれまで報告されていませんが、円形脱毛症での毛髪に対する IgG4 の働きを観察することは、皮膚での IgG4 関連疾患の解明に役立つと考えています。

4. 研究の概要

(1)対象となる患者さん

IgG4 関連疾患、円形脱毛症の患者さんで、皮膚生検を受けた方で、研究のため定める条件を満たす方。

(2)利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くのは、皮膚生検で採取した皮膚と血液検査結果に関する情報、診療記録です。

(3)方法

既に採取し当院で保存している皮膚を使用して標本作製し、免疫担当細胞や IgG・IgG4 が皮膚内部に存在するか、存在するなら毛髪とどのように関連しているかを観察します。

IgG4 関連皮膚疾患の皮膚と円形脱毛症の皮膚での、これらの差を観察し変化があるか検討します。

5. 個人情報の取扱い

使用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用される

ことを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学皮膚科学講座 担当医師池田高治

TEL:073-441-0661 FAX:073-448-1908

E-mail:t-ikeda@wakayama-med.ac.jp